

# 7万5095件に2118億円配分

## 科研費 配分額は過去最高に

このたびは文部科学省より、科学研究費補助金（科研費・補助金）及び学術研究助成基金助成金（科研費・基金）について、平成30年度の配分が公表された。2万5796件が新規採択され、継続分と合わせて7万5095件に対して約2118億円（直接経費・間接経費の合計）が配分された。応募件数は10万3672件となり、応募件数、配分額いずれも過去最高となった。なお、私立大学の採択件数および配分額（直接経費・間接経費の合計）の一覧については2面に掲載する。

平成30年度の新規応募件数は10万3672件で、前年度よりも2425件増加し、長期にわたる増加傾向が続いている。新規採択件数についても前年度よりも483件増加し、継続分を含めた採択件数全体では、7

学、その他、公立大学の順に占める割合が大きい。応募件数では国立大学4万9915件、私立大学3万3122件、その他1万2552件、公立大学8089件。採択件数では国立大学1万3444件、私立大学7044件、その他2983件、公立大学1879件。配分額は国立大学2348億円、私立大学881億円、その他534億円、公立大学235億円。

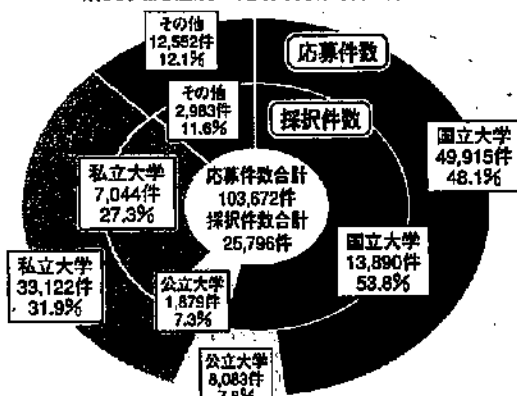
最近10年間の新規採択分の採択件数の推移（平成21年度から平成30年度）についてみると、私立大学が占める割合は22.8%から27.3%に上昇する一方、国立大学は59.3%から53.8%に低下し、長期にわたる私立大学の拡大傾向が続いている。平成30年度に採択された研究課題7万5095件に対して配分された助成額は、2118億円（直接経費1629億円、間接経費489億円）であり、過去最高となった。直接経費と間接経費の割合は、10.3と

件数では国立大学1万3444件、私立大学7044件、その他2983件、公立大学1879件。配分額は国立大学2348億円、私立大学881億円、その他534億円、公立大学235億円。

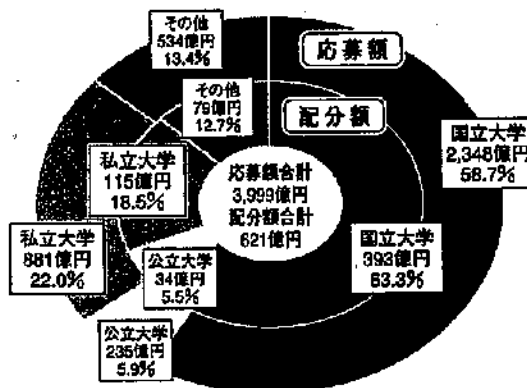
経費の割合は、10.3と

【研究者が所属する研究機関種別に見た応募・採択の状況(件数・額)】(新規)

研究機関種別の応募件数・採択件数



研究機関種別の応募額・配分額(直接経費)



(注1) 研究代表者が所属する機関により整理。  
(注2) 四捨五入の関係上、合計と内訳の数値が一致しないことがある。

また、研究者の属性別の状況については、女性研究者に係る採択件数は、54,588件となっており、全体の21.2%を占めている。新規採択率は、男性が24.6%、女性が26.1%となっており、女性の方がやや高い。女性研究者の登録人数が増加する中で、女性研究者の採択件数・比率とも近年では増加傾向にあり、採択件数は過去5年間で647件(13.4%)増加している。そのほか年齢別では、40歳未満研究者の採択件数は、全体の35.4%だった。